

# 2016年1月開催 セミナーのご案内【講師割引申込用紙】

この申し込み用紙は切り離さず、そのままお送り下さい。 FAX：03-5740-8766

弊社HP (<http://www.johokiko.co.jp>)よりお申し込み頂く場合は  
備考欄に 講師割引番号「W-823」を記載して下さい。

<主催>  
**/// 情報機構**

<http://www.johokiko.co.jp>  
〒141-0032 品川区大崎3-6-4 トキワビル3階  
TEL：03-5740-8755 FAX：03-5740-8766  
mail req@johokiko.co.jp

## < 講師割引適用について >

・割引額はそれぞれ左記料金より、  
1名ご参加の場合 ¥10,800円引き  
2名以上参加の場合

通常の同時申込割引から更に1名に  
つき ¥2160円引きとなります。

・割引の適用条件としましては、  
本申込用紙にて、fax申し込みされた方、  
弊社HPにて講師割引番号を記載の上、  
お申し込みを頂いた方に  
限らせていただきます。  
また場合によっては講師にご確認を  
取らせていただくことがございますので、  
その点ご了承下さい。  
・その他割引との併用はできません。

## 講師割引申込

本講座料金より ¥10,800 引き  
2名以上参加 更に ¥2,160 引き

スラリーの複雑な挙動をどのように評価し制御するか!? スラリー研究の第一人者が登壇! WEBでの検索は 「情報機構 AC160123」

## スラリー 制御のノウハウ・勘所 ~ 調製・分散、評価方法 ~

(株)JHGS こな椿ラボ 主宰 日時 2016年1月29日金曜日 10:30-16:30 受講料 1名46,440円(税込(消費税8%)、資料・昼食付)  
名古屋大学 名誉教授 工学博士 椿 淳一郎 先生 会場 [東京・秋葉原]中小企業振興公社 \*1社2名以上同時申込の場合、1名につき35,640円

テキスト: 椿 淳一郎、森 隆昌、佐藤根 大士:「基礎スラリー工学」、丸善(2016) 当日会場にて受講者に配布・進呈します。

講師より: スラリーの挙動の複雑怪奇さは、多くの技術者を悩ませている。しかしスラリーに関する専門書はレオロジーとろ過・脱水に限られ、無機材料プロセスで役に立つ専門書は皆無と言って良い。本セミナーでは、講師の現場技術との交流をベースに蓄積された学術研究の成果に立って、なぜスラリーの挙動は複雑なのか、複雑さを支配している因子は何か、複雑な挙動をどのように評価し制御するか、新たなスラリー制御技術について講義する。これまでも受講者の方々から、受講後に自社のプロセスを見直し歩留まりを向上し開発時間が短縮できたとの報告を受けています。

過去の同講師セミナー受講者の声(アンケートより): 「開発のための参考として受講。知りたかったスラリーの評価方法がわかってよかったです」(生産プロセス開発)

「基礎理論はもちろん、実用的なお話もあり、大変役立ちました」(化粧品・開発)

「界面活性剤添加量と分散性の関係、のあたりが特に興味深かった」(粉体・設計開発) 「自社製品の評価指標改善のヒントにしたいと思います」(電池材料・技術開発)

主催社より: セミナー受講申込者には事前に「特に興味のある内容項目」や「質問事項・講義への要望」についてメールでお伺い致します(回答提出は任意です)。  
定員に達し次第、申込を締め切らせて頂きます。お申込はお早めに。 問い合わせ先 03-5740-8755

- |                        |                  |                    |                        |
|------------------------|------------------|--------------------|------------------------|
| 0. 粉体工学とスラリー工学         | 3. 粒子と媒液の界面      | 5. 粒子の分散・凝集        | 7. 粒子の沈降・堆積挙動          |
| 1. スラリー工学の現状と課題        | 3.1 粒子と分散媒の親和性   | 5.1 親液・疎液性(濡性)     | 7.1 粒子の沈降挙動 7.2 堆積層の固化 |
| 1.1 微粒子はなぜスラリーとして扱われるか | 3.2 粒子の帯電        | 5.2 粒子の接近・衝突       | 8. 粒子の充填特性             |
| 1.2 スラリーの挙動はなぜ複雑か      | 3.3 界面活性剤の吸着     | 5.3 凝集機構と凝集形態      | 8.1 回分沈降試験による評価・解析     |
| 1.3 問題解決の道筋            | 4. 粒子間に働く力       | 5.4 分散・凝集状態の評価     | 8.2 定圧ろ過法による評価・解析      |
| 1.4 材料プロセスで重要な評価項目     | 4.1 DLVO理論       | 6. スラリー流動特性        | 8.3 流動特性と充填特性          |
| 2. 粒子特性                | 4.2 疎水性相互作用      | 6.1 流動特性           | 9. スラリー調製              |
| 2.1 粒子径 比表面積 密度        | 4.3 吸着高分子により生じる力 | 6.2 流動特性に影響を及ぼす諸因子 | 9.1 スラリー化 9.2 均質化      |
| 2.2 粒子径分布 粒子構造         | 4.4 高分子枯渇作用      | 6.3 流動特性評価法        | 9.3 スラリー特性の最適化         |
|                        | 4.5 粒子間力測定法      | 6.4 流動特性と成形        | < 質疑応答・名刺交換・個別相談 >     |

### < 申込要領 >

1. 申込を確認次第、弊社より受講券、請求書、会場地図等をお送り致します。
2. 受講料のお支払いは、原則として開催日までにお願致します。後日になる場合は予定日をご明記ください。また、当日会場でのお支払も可能です。
3. 申込後、ご都合により講習会に出席できなくなりました場合は、代理の方の出席をお願い致します。止むを得ず欠席される場合、弊社事務局迄ご連絡下さい(受付時間9:00-17:00)。以下の規定に基づき料金を申し受けます。  
開催日から逆算(土日・祝祭日を除く)して、  
・講座3日前~4日前での欠席のご連絡: 受講料の70%  
・講座当日~2日前での欠席のご連絡: 受講料の100%
4. 原則として銀行振込の場合、領収証の発行はいたしません。振込手数料はご負担下さい。
5. 最小催行人数に満たない場合等、事情により中止になる場合がございますがご了承下さい。

セミナー名	スラリー 制御のノウハウ・勘所 ~ 調製・分散、評価方法 ~			開催日	1 月 29 日
会社名	住所	〒			
所属・役職	TEL	FAX			
受講者	e-mail	上司氏名	e-mail		
備考欄					
今後ご希望の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可)		e-mail	FAX	郵送	不要

ご連絡頂いた、個人情報(弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため)は、今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱いに関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先policy@johokiko.co.jp